

資料 2

# 外国人児童生徒のために できること

可見市立土田小学校

山下 啓子

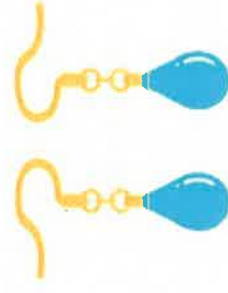
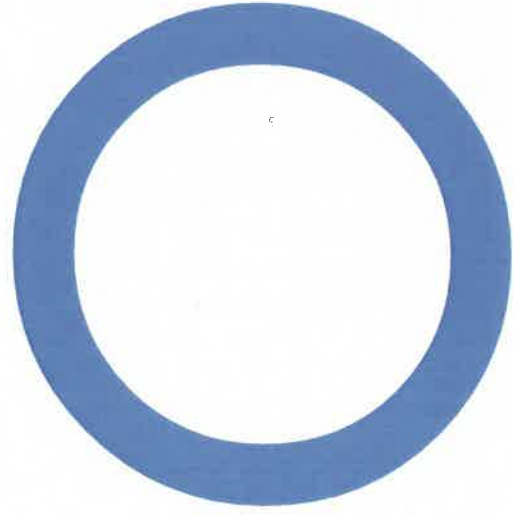


# 土田小学校の職員研修会

## ＜設問①＞

○ 学校にアクセサリーをつけてきてもよいか？

👉 ブラジルでもフィリピンでもピアスは、女性の証。  
生まれてしばらくですぐにピアスをあけることが多い。



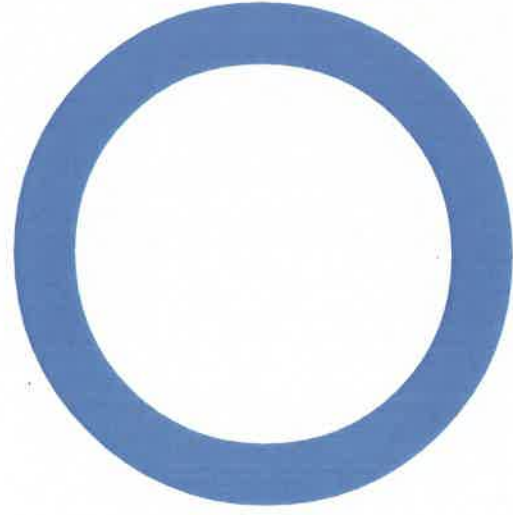
- 「ピアスをとりなさい！」  
えっ、どうして！？（激怒！）

# 土田小学校の職員研修会

## ＜設問②＞

○ 家庭訪問や授業参観は、行われていない？

☞ 学校行事は、ほとんどない。運動会もない。



- 家庭訪問に行っても  
留守だった…
- 運動会にも来ない…



# 「日本語が分からない子供への指導」



👉 こんなことに気を付ければ・・・

👉 こんなことを意識したら・・・

# 「生活言語」と「学習言語」

● **生活言語** = 日常生活の中で使う言語

☞ 日々の会話の中で使うので習得は速い。

● **学習言語** = 日常生活でなかなか使われない言語

☞ 学校生活や学習の中でしか習得できない。

☞ 意識的に習得しようとしなければできない。

# 「動作化」



ペーパーサート  
(紙人形)



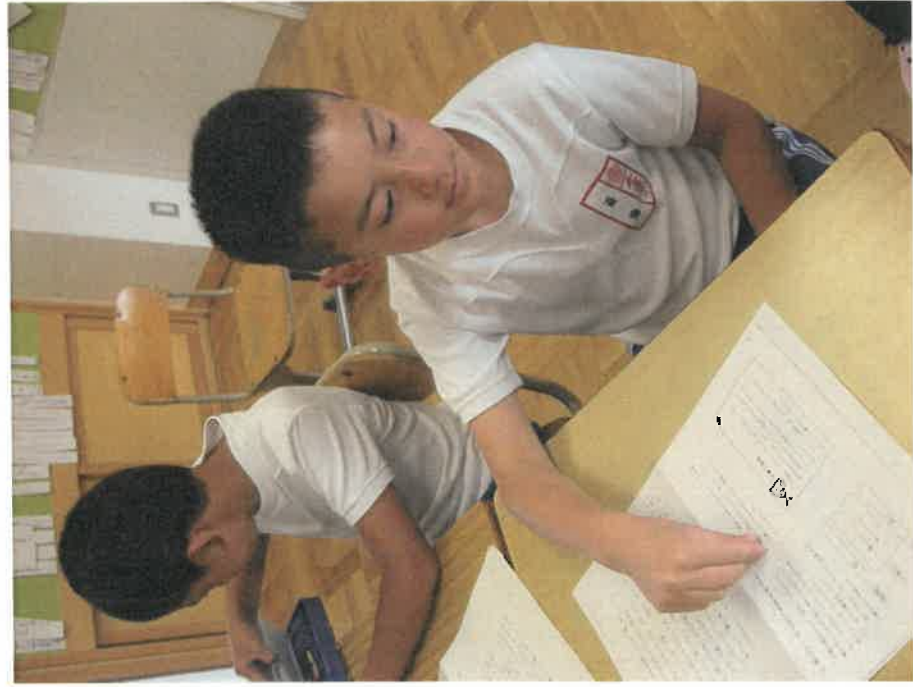
「目的地にたどり着くまでの様子」を動作で示して説明する。



# 「体得して覚える」

「ひとつまみ」

やってみることで習得する。



「行列」



# 「視覚化」

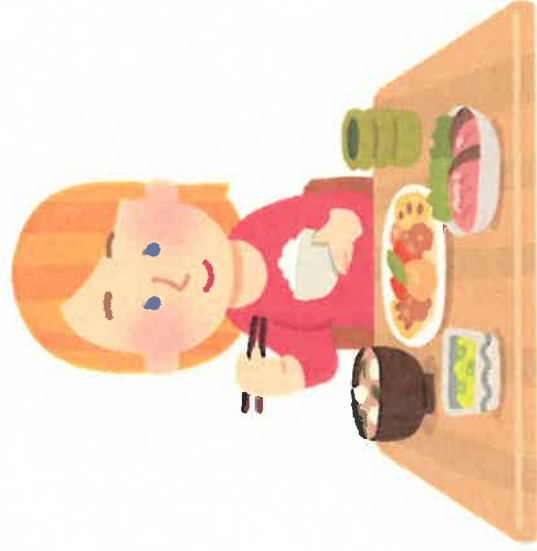




# 「視覚化」

言葉と映像、実物を結び付けて理解する。

食事を「とる」



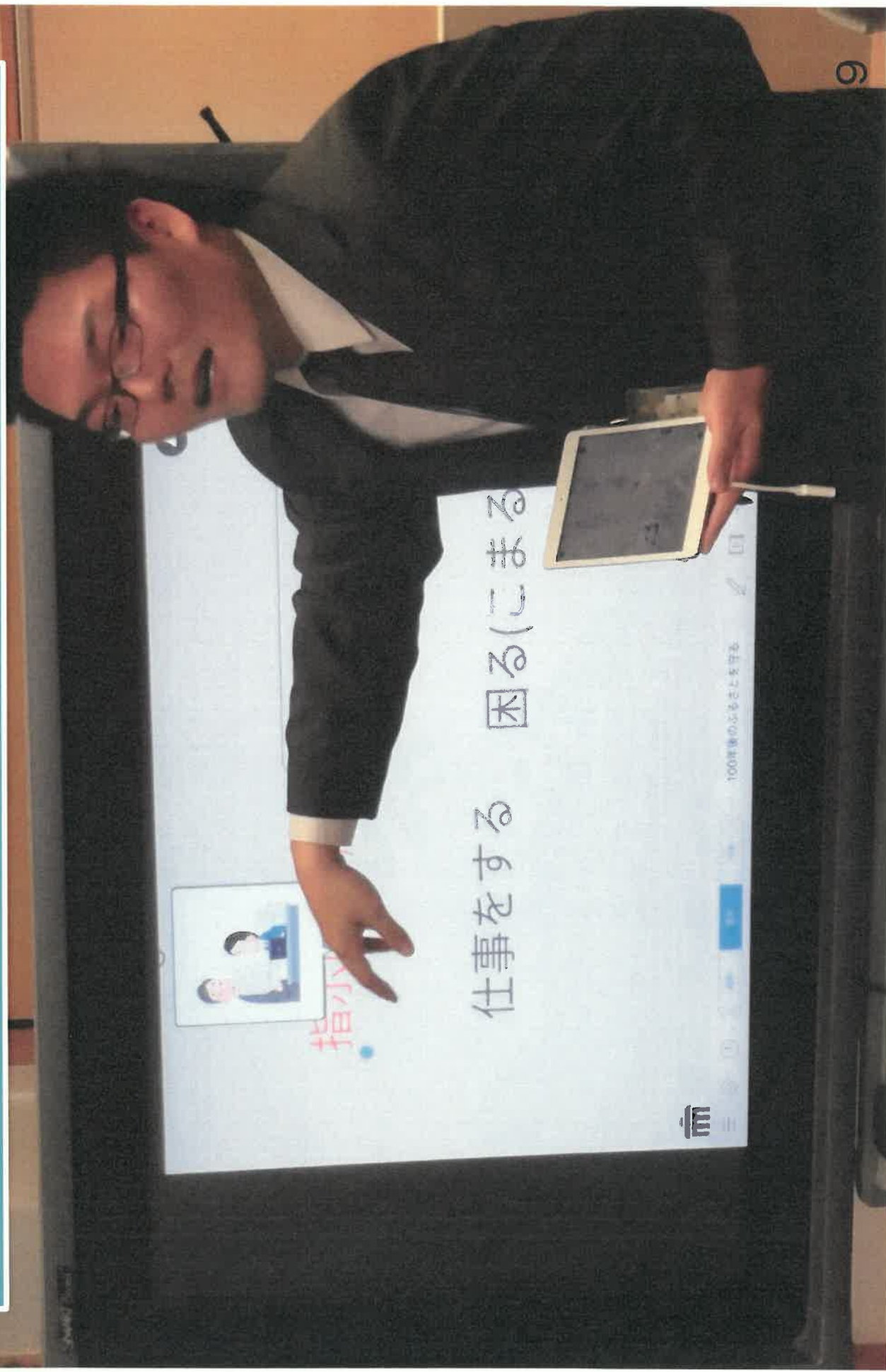
虫を「とる」



すもうを「とる」




# ICTの利用 ～小学校での指導の様子～



# 外国人児童生徒の初期指導 「日本語ワークブック①」

がっこうせいいかつ

1	あいさつ
2	トイレ
3	きょうしつ
4	ほけんしつ
5	きょうしつのことば
6	そうじ
7	じかんあり
8	れんらくじょう
9	としょじつ
10	あそび
11	どうげこう
12	いのおをまもるくんれん
13	がっこうじょうじ



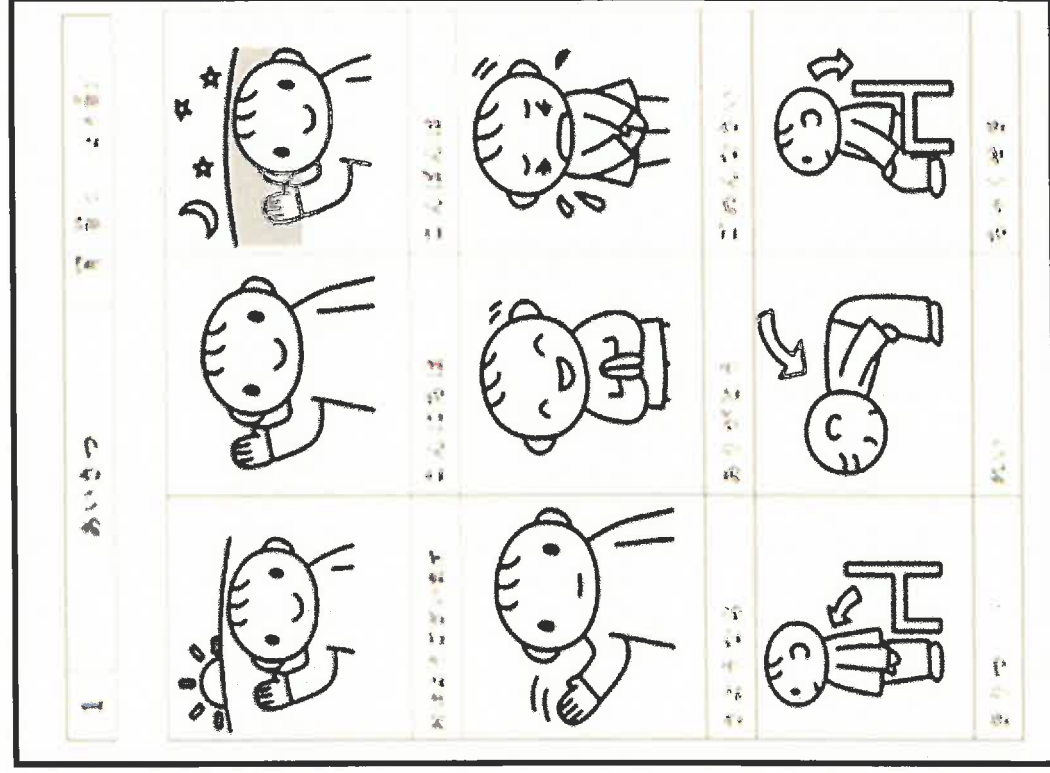
- 日本での生活でつまずく場面、行為を想定
- 文化や生活習慣の違いを想定



👉 日本での学校生活を、円滑に送るために必要な言葉をしっかりと身に付けさせたい……。



# 実際の指導・支援の方法



×テキストを読む、繰り返すだけの支援では……

## 《初期段階の面談》

- 来日年齢、母語力、母国での生活などについて詳しく聞き取る。



編入時に、通訳を通して細かな聞き取りが必要



「しつれいします。」

例えばこんな場面では・・・

## こんな外国人児童も…

- ✓ **就学1か月前に、  
中国から来日した児童Aさん**
- ✓ **就学2週間前に、  
フィリピンから来日したBさん**